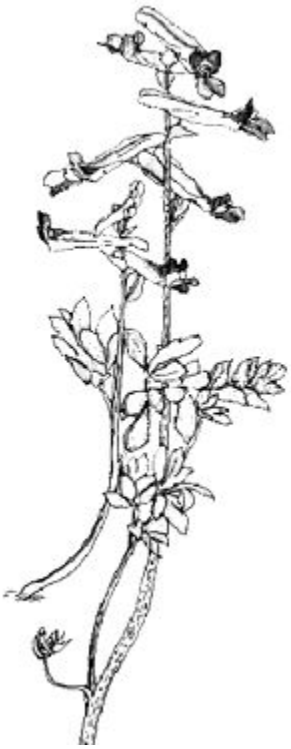
稲城野草散策の会

野草スケッチ　ジロボウエンゴサク（ケシ科）



1996/０4/２７　　稲城市矢野口　　絵と文　Ｔａ

「ありがた山」は京王よみうりランド駅から徒歩３分ほどで行ける。
この名前は通称であり、地図を見ても普通は書いてない。
観光案内なら「ありがた山石仏群」が載っているかも知れない。
なにやら、由緒因縁がありそうな名前ではある。

会報第２７号　2007年3月２４日発行　発行責任者　尼子　房夫

ありがた山の入り口にある妙覚寺の墓地が、山の斜面に沿って、ずっと上まで伸びている。
登りきったところは尾根道になっていて、稲城市内～府中方面が良く見える。
尾根の手前に、墓地とは雰囲気の違う一角があって、たくさんの石像が傾斜地を埋めるように立っている。
良く見れば、道祖神、地蔵様、墓石、灯篭など、数千体が並んでいる。
これらの石像群は、お寺とは関係がないらしい。
あるとき、土地の人からその謂れを聞く機会があった。

昭和１５年頃の話だという。
関東大地震で崩れたり焼け出されたりした墓や道祖神などが、倒れたままの状態で都内のあちこちで野ざらしにされていた。
持ち主も祭る人もいなくなったからといって、それらの石像を捨てるわけにもいかない。
ある宗教団体が、これではかわいそうだと、一つ一つ拾っては、稲城へ集結させる運動を展開した。
一つ運べば、たいへんな功徳（くどく）になると信じられていたらしい。
当時、最寄駅は南武線南多摩駅であった。
山手線～中央線～南武線を乗り継いで運んだ。
信者たちが、南多摩駅から麓まで荷車を押し、そこからは担いで登った。
そのとき唱えた、「ありがたや、ありがたや」という掛け声が山に木魂した。
それ以来ここを、誰言うともなく「ありがた山」と呼ぶようになったのだそうである。

墓地から石像群を通って尾根筋までは、５０m程度の幅で木を切り払ってある。
不動産広告的にいえば、陽光抜群、眺望絶佳。
植物にとっても、住みやすい環境なのだろう。
季節に応じて、たくさんの草花が咲く。

ジロボウエンゴサクを始めて見たのは、ありがた山の登り口あたりだった。
まだ植物については駆け出しで、曽根先生の後を金魚のナニみたいについていた頃だ。
この花を見て、うろ覚えの知識で「ムラサキケマン」と叫んだら、即座に訂正された。
そういえば、図鑑では見たことがあるし、信州にもあったような気がするが、ど

う違うのか、ぜんぜんわからない。
しばらくはパニックだった。

ジロボウエンゴサクとムラサキケマンは、良く似た花をつける。
だが、ジロボウはひょろひょろっと生えていて、葉は小さく数も少ない。
ムラサキケマンは細かく切れ込んだ葉をたくさん茂らせ、もっと大柄だ。
わかってしまえば間違えることはないのだが、いいかげんな知識しかなく、しかも思い込みで決め付けてしまうと、違いが見えてこない。

もっと謙虚に、ありのままを見なければ「観察」とはいえない、ということを、この花から教わったような次第である。
なお、この花も「三沢川流域型」の分布パターン（ユリワサビの項参照）を示しており、坂浜などのところどころでも見ることができる。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

〔観察記録〕２月２５日　稲城城山公園

天気が良くて絶好の観察日和でした。参加者は６１人。
南多摩駅周辺はしばらく来なかった間に、工事が進められ、大丸用水の周辺もすっかり様相が変わっていました。
今回のコースは例年と違って「大丸城跡」の説明板を見て城山公園に向いました。城山公園のところにいつの間にか稲城中央図書館が出来ていました。昼食をとった城山公園の紅白の梅の花がきれいでした。
主として樹木を中心に観察し、城山公園から中央公園、三沢川沿いを稲城駅まで歩きました。次回、皇居東御苑（3/3、3/24）でまたお会いしましょう。(FAM)

◆観察記録(番号順)

(01)ニシキギ	(02)イロハモミジ	(03)ネムノキ
(04)ケヤキ	(05)ヤマハンノキ(花)	(06)タマノカンアオイ
(07)シュンラン	(08)ヤブコウジ(実)	(09)サイハイラン
(10)アオキノ実生	(11)イヌシデ	(12)ミズキ
(13)ヒトツバタゴ(植栽)	(14)ウグイスカグラ	(15)ウワミズザクラ
(16)ネジキ	(17)コウヤボウキ	(18)マルバアオダモ
(19)アワブキ	(20)マルバウツギ	(21)ツルグミ
(22)ヤマトアオダモ	(23)ヤブムラサキ	(24)ヒメコウゾ

⑵⑸ムラサキシキブ　⑵⑹ニガキ　⑵⑺エゴノキ
⑵⑻イヌザクラ　⑵⑼ゴンズイ　⑶⓪シロダモ
⑶①イヌツゲ　⑶②ヤマザクラ　⑶③コバノガマズミ
⑶④ヤマツツジ　⑶⑤サワフタギ　⑶⑥ムクノキ
⑶⑦ハリギリ　⑶⑧クマシデ　⑶⑨アオハダ
⑷⓪アセビ　⑷①フウ　⑷②ムベ
⑷③ヤマボウシ　⑷④コブシ　⑷⑤カツラ
⑷⑥ヒュウガミズキ　⑷⑦クロモジ　⑷⑧トチノキ
⑷⑨クマノミズキ　⑸⓪ナナカマド

〔観察記録〕３月３日　皇居東御苑下見

下見オフご参加の皆様、お疲れさまでした。

ぽかぽかとした陽気の下、好天に恵まれ、絶好の散策日和でした。沢山の花や、膨らみ始めた（ものにとっては展開を始めた）冬芽達の観察もじっくりとできたので、良かったと思います。主立った樹木に学名入りの名札がついているのは、天皇陛下（今上陛下）のアイデアであるようです。

恒例のささやかは、九段下の「さくら水産」で・・・。美味しいお刺身で、ビールも一段と美味しかった！

さて、印象に残った花を幾つか紹介いたします。

その１．「椿寒桜（ツバキカンザクラ）」

（唐実桜と寒緋桜の雑種起源と考えられる園芸品種）

長めの花糸が、カラミザクラの特徴をよく継承していますね。（＾＾）

その２．オガタマノキ

ちょうど、真っ盛りという感じで、清楚な花をたくさんつけていました。カラタネオガタマとは、また違った上品な香りも印象的でした。

その３．シナマンサク

これぞ、今が旬！という感じで、あちこちで目にすることが出来ました。これは、北の丸公園で撮ったもの。逆光で、いっそう華やいで見えました。

本番では、また違った花が色々見られると思います。今から楽しみですね。

（皇居東御苑・旬の花・めりべ ）

Ｔａさん、めりべさん、そして参加された皆さん
お疲れ様でした＆お世話になりました！

３月とは思えないくらいの陽気に誘われてでしょうか？たくさんの野鳥たち、さらに美しいムラサキシジミも現れました。本当に楽しいオフでしたね！（ワル）

〔行事記録〕３月１１日　ロゼットオフ

恒例のロゼットオフなのに天気予報は雨。それにも負けず、１８名の参加者がまだ雨の降っている京王線稲城駅に集合しました。設営組とロゼット採集組に分かれて、稲城中央公園に向かいました。遅れて追っかけて来た２名を含めて２０名になりました。

設営組がスーパーで買い物をしたあと、会場にテーブルや椅子を運び、火をおこしていると、採集組が早くもやって来ました。「大収穫！」といいながら、タネツケバナ、ヤブカンゾウ、セリ、クレソン、ノビルのほかに。大量のキクラゲも見つけてきました。この頃になると雨が止んで青空が見えてきて、素敵なロゼットオフ日和になりました。

今回の目玉は、ヤブカンゾウのぬた、タネツケバナの塩もみ、タネツケバナのイノシシベーコン炒め、チジミ、キクラゲに黒糖をかけたもの、ドラミちゃん提供のイノシシ肉にキノコやキクラゲ、ゴボウ、ダイコン、油揚げなどなどが沢山入った具沢山のイノシシ汁は本当に美味しかったですよ。皆さん、大満足で、２次会に向かわれたようです。

いろいろ準備していただいた瀬戸さん、本当にありがとうございました。(FAM)

◆「樹皮ハンドブック」の訂正

第１刷、第２刷で使用したカラマツの写真のうち、１２ページと２４ページの２点はチョウセンカラマツ（Larix olgensis）またはその系統種である可能性が判明しました。万全を期して、２００７年１月２５日発行の第３刷にて写真を差し替えましたので、皆様にお知らせいたします。（このきなんのき所長）

※差し替え前の写真（北海道富良野市内の植林地で撮影）は、カラマツの変異の一例を示す目的で掲載したものでしたが、その後の情報収集でチョウセンカラマツの可能性が浮上しました。チョウセンカラマツは、朝鮮半島周辺原産のカラマツによく似た樹木で、樹皮はカラマツに比べて縦に長く裂ける傾向があるようです。北海道の民有林では１９７０年代頃に植林されたことがあり、約５０ha が現存しているようです。（情報提供：北海道立林業試験場）

★　差し替え用の写真がありますので、お申し出下さい。（尼子）

〔行事予定〕2007/3/24（土）　皇居東御苑

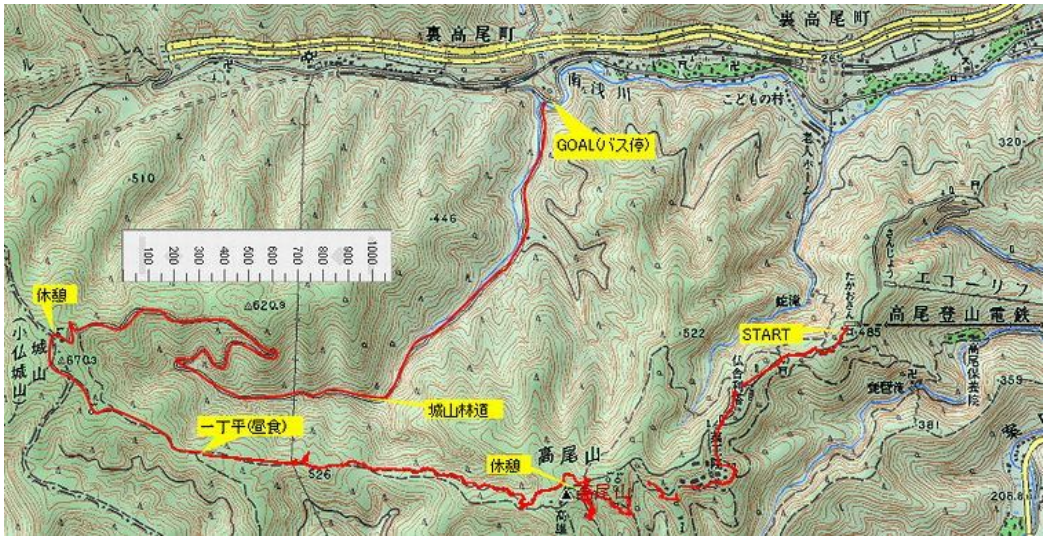
項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、皇居東御苑大手門前　※会旗目標
交　通	地下鉄各線の大手町駅（ｃ１０、ｃ１３ｂ出口）から約２００ｍ（徒歩約５分） ＪＲ東京駅（丸の内北口）から約１０００ｍ（徒歩約１５分） 皇居外苑から約６００ｍ（徒歩約１０分）
行く先 (解散場所)	皇居東御苑内観察、ｐｍ4時頃解散予定
見所	皇居の樹木 ３月３日の下見のときは、ツバキカンザクラ、オガタマノキ、シナマンサクがきれいに咲いていました。そのほかに、アカバナミツマタ、オニシバリの花も見られました。 本番では、どんな花が咲いているでしょうか。
地　図	地下鉄各線の大手町駅（ｃ１０、ｃ１３ｂ出口）からのアクセス
皇居東御苑のＵＲＬ	http://www.kunaicho.go.jp/11/d11-03gr.html
コース	大手門…三の丸尚蔵館…（百人番所）…（大番所）…松の廊下跡…本丸…天守閣跡…二の丸庭園…北桔橋門…（北白川宮像）…北の丸公園…四阿…田安門…靖国神社（解散）

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円
　皇居東御苑の入園料は、無料です

〔行事予定〕2007/4/7（土）　高尾山

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、高尾山ケーブルカー高尾山駅 改札口付近 ※会旗目標
交　通	京王線高尾山口行きの終点。新宿から特急で１時間弱 京王線特急八王子行きは高尾山口へは行きません（北野で乗換え） ＪＲ線を利用される方は、高尾駅で京王線に乗換え 高尾山ケーブルカーで高尾山駅まで上がってください。乗車券は各自負担
行く先 (解散場所)	日影沢ウッディハウス周辺　ｐｍ４時頃解散予定
見所 その他	高尾山のスミレがいろいろ観察出来ると思います タチツボスミレ、タカオスミレ、アカネスミレ、マルバスミレ、ヒナスミレ、コスミレ、アオイスミレなど

地　図



コース	高尾山ケーブルカー高尾山駅前→高尾山頂→一丁平→城山→城山林道→日影沢ウッディハウス（解散）→日影バス停→ＪＲまたは京王線高尾駅 コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

〔行事予定〕2007/4/22（日）　三沢川下り

項　目	説　明
集　合	am10時、京王相模原線・若葉台駅 改札口付近　※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交　通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 多摩モノレールの場合、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 小田急線の場合は、永山駅または多摩センター駅で京王線に乗換え 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	若葉台駅から三沢川に沿って稲城駅まで歩きます。 稲城駅　pm4時頃解散予定
見所 その他	三沢川流域には雑木林や谷戸田など、豊かな自然が残っています スミレ、ジロボウエンゴサク、イチリンソウ、タマノカンアオイ、 クチナシグサ、ノジスミレ、ゲンゲ、ふれあいの森でヤマルリソウ などの花が見られると思います
地　図	
コース	若葉台駅→稲城高校前→稲城ふれあいの森周辺→天神台→高勝寺→ 清水谷戸→駒沢学園→百村→京王稲城駅（解散） 行程5～6km、アップダウンはほとんどありません コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日300円